

### 聖書を正しく 読むために

「原語で聖書を味わう」

下窪大哉 牧師  
(ヘブル語 担当教授)

聖書を原語で読むからこそ味わうことができる深みを「創世記一章一節」を例にあげ紹介します。一章一節は定目的語を除くと五つの単語から構成されています。

ヘブル語は強調したいものが通常文の先頭に來ます。

①はじめに②神が③天④地⑤創造された。さて皆様でしたらどの単語を先頭に置くでしょうか？「神」「創造された」。

この辺りかもしれません。しかし靈感を受けた聖書が選んだ言葉は「はじめに」でした。

この単語は副詞句なのでどの位置でも置くことが出来ます。そして動詞優位なヘブル語は

動詞が先頭にきやすいです。

しかし、「はじめに」という言葉をあえて先頭に置いて強調しています。「はじめに・ベレシート」は「ロオシユ」

(頭)という文字を基本とした女性名詞「レーシート」に接頭辞「ペート」をつけたものです。人間でも動物でも身体全体の中で「頭」を見て感じるものが「ベレシート」の意味を構成しています。「レーシート」をコンコードンスで調べると四つの意味に分けることができます。①はじめり

(王国の始まり、物事のはじめ等) ②頭の地位(首長) ③最上(最高のもの、最も重要、基本) ④初物(初穂)。日本語訳では単に「はじめに」という訳でしかありませんが、時間と関わらせて「はじめ、順序と関わらせて「最初、重要性を示して「第一に」「最も重要なこととして」というニュ

アンスを原語として持つています。箴言一章七節「主を恐れることは知識のはじめ(レーシート)である」。この聖句も単に主を恐れることが知識の順番の初めという意味だけでなく、それが知識の基本であり、目指すところの総括的概念であり、最も重要なことという意味を合わせ持つてい

ることが分かります。

一章一節を「最も重要なこととして、掛け違えてはならない人生の第一ボタンとして神が天と地を創造された」という風にこの聖句を味わってみると味わいが変わってくるのではないのでしょうか。

神が全てをつくり、私をもつくったことを認めることはあなたの人生にとつて最も大切なことで、人生の価値基準、優先順位が変わります。「すべてのもが神から発し、神によって成り、神に至るのです。

この神に栄光がとこしえにありましますように。アーメン。  
ローマ十一章三六節

בְּרֵאשִׁית בָּרָא אֱלֹהִים אֶת הַשָּׁמַיִם וְאֶת הָאָרֶץ

はじめに神が天と地を創造された。(新改訳2017)  
初めに、神は天と地を創造された。(新改訳改訂3)  
はじめに神は天と地を創造された。(口語訳)  
初めに、神は天地を創造された。(新共同訳)  
In the beginning God created the heaven and the earth. (KJV)

と、先生が壊れる時代なのか。聖書を開くと、偉大な指導者モーセの後にヨシュアが現れ、その次が士師の時代に入る。士師の時代は「主の言葉はまはれに」もなく、幻も示されなかった。(Iサムエル三章一節)と語られるが、そういう中で「主よ、お話しください。しもべは聞いております。(Iサムエル三章九節)と語り出す若者が現れて来た。困難な時代に、直接神様の声を聞き、神様に語りかける若者が現れて来た事になる。

学園報  
第28号

# はたらき人

沖縄聖書学園 (沖縄信徒聖書学校・沖縄信徒伝道者学校・沖縄聖書神学校)

沖縄信徒聖書学校校長：新垣栄市 沖縄信徒伝道者学校校長：城倉 翼

沖縄聖書神学校校長代理：重元 清 学園事務局 (平良善郎 090-3418-5747)

## 主が呼んでおられる



沖縄聖書神学校校長代理

重元 清

(石川福音教会)

「学校の先生になりたいんですか？」と若者が相談してきたら「考えた方がいいよ」とアドバイスしていると語った元先生。

「先生が忙しい」と言われて久しい。昔はクラブ活動も「野球」くらいしかなかった。だから一〇人の先生の中から一人が手を挙げ「野球が好きなので、私が顧問をします」と語るだけで良かった。しかし現在は「個が尊重」され、たぐさんのクラブ活動が乱立する。そして全ての先生が、好きでもない顧問を平等に引き受けて行く。真面目だし、プライドもあるから、校長からお願いされると「私は出来ません」とは語らない。更には生徒の親から「もっと厳しい指導を」とハツパをかけられ忙しさが増す。民主主義の時代に生まれて

来た先生方の試練か。

同じような試練が、牧師にも生まれて来た。通信の発達と共に、思いもかけない所から一方的な相談が寄せられ牧師の前に問題が乱立する。責任を持つて平等に対応しようとするが無理が来る。牧師の「燃え尽き症候群」が問題になったが、そういう中で家に帰ったら「携帯電話のスイッチを切る」牧師も増えてきた。多様化する問題に平等に耳を傾け、そこから御言葉に導く真面目な牧師が、電話のスイッチを切るのか。しかし「サラーマン牧師が増えて来た」と嘆く方もおられる。

元学校の先生は「そつなくこなす、ベテランの先生だけが学校に残るようになった」と指摘。情熱を持つて一人一人に接する

と、先生が壊れる時代なのか。聖書を開くと、偉大な指導者モーセの後にヨシュアが現れ、その次が士師の時代に入る。士師の時代は「主の言葉はまはれに」もなく、幻も示されなかった。(Iサムエル三章一節)と語られるが、そういう中で「主よ、お話しください。しもべは聞いております。(Iサムエル三章九節)と語り出す若者が現れて来た。困難な時代に、直接神様の声を聞き、神様に語りかける若者が現れて来た事になる。

(ヘブル十一章四節)

### 沖縄聖書学園 在学生紹介

#### 信徒聖書学校

一年生

池田功児

(教団・上地教会)

石原輝

(泡瀬バプテスト教会)

大嶺エイ子

(那覇ナザレン教会)

二年生

池田聖香

(泡瀬バプテスト教会)

親富祖直美

(玉城バプテスト教会)

普天間ともえ

(教団・志真志伝道所)

前田進一郎

(モフンスデーアドベンチスト  
那覇教会)



信徒聖書学校  
・校  
学  
道  
学  
生  
入  
学  
式



学園ピクニック

#### 聖書神学校

一年生

大城千昭

(泡瀬バプテスト教会)

金城正秀

(牧港中央バプテスト教会)

申一秀

(牧港中央バプテスト教会)

仲宗根みどり

(胡屋バプテスト教会)

三年生

高石カツエ

(礼邦バプテスト教会)

外間永二

(教団・平良川伝道所)

屋比久 旻

(那覇バプテスト教会)



沖縄聖書神学校 入学式

### 二〇二四年度 — 学生募集 —

#### ★信徒聖書学校

- ・修学年限二年
- ・募集人員二〇名
- ・願書締切り三月末日
- ・詳細は入学案内を参照

#### ★信徒伝道者学校

- ・修学年限二年
- ・募集人員二〇名
- ・願書締切り三月末日
- ・詳細は入学案内を参照

#### ★沖縄聖書神学校

- ・修学年限四年
- ・学生募集に記載されている入学資格を参照
- ・願書締切り一月末日
- ・願書締切り二月末日
- ★神学校聖書科
- ・学生募集参照
- ・願書締切り二月末日

### 信徒聖書学校で 学んで

翁長恵美子姉

(高原ホーリネス教会)



はじめに、私たちのイエス・キリストの父なる神の御名があがめられ、ほめたたえられますように。

二年前私たちは、それぞれの思いを胸に沖縄聖書学園 信徒聖書学校に入学しました。入学式は全てでも忘れません。初めて会う兄弟姉妹、講義をなさる先生方の多さに圧倒され、久しぶりに味わう緊張と期待感を持ち、一歩踏み出しました。同じ主を信じる者同士、打ち解けるにさほど時間はかかりませんでした。兄弟二名、姉妹四名、年齢は二〇代〜七〇代と幅広く、世代を超えた兄弟姉妹との

学びはさらに楽しみとなりました。それと同時に一年間学び続けられるか、思いもありましたが、神様が知恵と力を与えてくださると信じて望みました。思い起こせば、この二年間あつという間だったと感ずります。先生方お一人お一人の個性で持ち味のある講義は、学習方法も異なり、それぞれの経験をまなべて余すことなく私たちに教えて下さいました。

#### 新約と旧約の関係は聖なる生活

復活と死、神様の聖い義に対する人間の罪深さ、神様の恵み、救い主であり解放者である神、神様と人との愛の関係、贖い、選び、契約、神の国、イエス様、自身の教えにまでつながっています。新約聖書は旧約聖書から引用が多く、旧約聖書を知ればさらに新約が明らかにされていくというところは新たな発見でした。

聖書は預言書であり歴史書であり、まさに生きて働かれる命の書であることを切実に感じました。先生方の一つ一つの教えを聞けば聞くほど、知れば知るほど、心躍り学ぶ喜びを

教えられました。しかし、毎回出される課題をこなすには大変なことでした。その単元のみ言葉を二読し、デポジションし、調べ、原稿にする、まだ、やり終えていない上に次の課題が与えられ、それぞれが仕事や介護、奉仕を掛け持ちしながら、学びのバランスの難しさ、時間配分には難渋しました。その度に祈り、神様は知恵と力を与えて下さりました。

その中でみ言葉に向き合う時、自分自身の姿があらわにされていきました。ある時は罪を示され、ある時は自分の小ささを弱さを知り、その上で神様の愛の深さ、神の偉大さに感謝しました。またお互いが示されたみ言葉と理由について生きた証や学び得たことの分かち合いの時、神様の素晴らしき御業をほめたたえました。励まされました。

ある方が言いました。聖書を学ぶことは、主を知ること、主を知ることは、心が変わる、生活が変わる、生き方が変わる、人生が変わると、最後にになりましたが、私たちが快

